

2年連続での出場となった、第20回全日本大学女子サッカー選手権大会の1次ラウンドが11月25～27日の日程で行われた。通称インカレと呼ばれるこの大会は、全国の大学女子サッカー部の頂点を定める大会であり、この1次ラウンドを勝ち抜いた4大学のみが年明けに行われる準決勝に進むことができ、決勝が行われる国立競技場のピッチに立つことができるのはわずか2大学のみだ。“国立のピッチに立ちたい”この想いを胸に、ついに始まった第1戦・早稲田大学戦。2年連続で日本一に



↑3年生からの贈り物

vs 早稲田大学
1-3
3年・小田

輝く女王に臆することなくどこまで自分たちのプレーができるか。前半9分、2年・高橋の蹴った精度の高いコーナーキックを2年・大滝が頭で合わせると、ボール

はゴールへと吸い込まれた。今年度のインカレにおいての初得点となった大滝のゴールに会場が沸きだす。しかしそこから早稲田の猛攻が始まる。1点を守りたい尚美は守備に時間を費やし、必死にゴールを守る。このまま前半終了かと思われた38分、ついに同点ゴールを許してしまう。何としても勝利を収めたい尚美は後半、攻撃的な姿勢を見せるものの後半6分に逆転されてしまう。それでも体を張り、一進一退の攻防を繰り返す。しかしロスタイムに3点目を与えてしまい、初戦を落としてしまう。

2年・大滝

第20回全日本大学 in J-GREEN堺

女子サッカー選手権大会

vs 吉備国際大学
1-6

第2戦の相手は西日本の強豪・吉備国際大学。昨年度もインカレであたり、キックオフ直後に先制され、悔しい敗戦を喫した相手だ。この1年、“同じ負け方をしたくない”という想いで練習を重ねてきた。準備に準備を重ねて臨んだものの、相手の巧みなボールキープ力に圧倒され、なかなかボールを奪うことができない。そして前半8分、サイド攻撃から崩され失点すると、完全に相手のペースとなり前半だけで4点を与えてしまう。後半も早いうちに失点。このままでは終われない尚美は体を張り、なんとかボールを奪うと後半52分、3年・小田からの浮き球を2年・中田が足で合わせついに待望の1点を取ることに成功する。しかし勢いに乗ることはできず直後にとどめの一発を決められ、ベスト4に望みをかけた一戦は大量失点で終えることとなった。大会2日目が終了し、2敗をした時点で予選リーグ敗退が決定した。残る一戦は同じく予選敗退が決まっ

た姫路獨協大学。だが2010年度発足の、尚美よりも若いチームながら関西第3代表として2年連続出場となった確かな実力を持つチームだ。“絶対に1勝して大会を終えたい”応援団にもより一層気合いが入る。しかしその気持ちは相手も同じ。キックオフ直後からガンガン攻め込まれ、前半19分、DFが甘くなった一瞬の隙を突かれ先制点を許してしまう。どこか緩んでいた気持ちを引き締め直し、尚美は反撃に出る。前半62分、2年・高橋のコーナーキックを1年・小林(映)が頭で合わせ、最後は4年・古市(珠)がゴールネットへ押し込み前半を1-1で終える。勝利がほしい後半、試合は尚美ペースで進み、相手に疲労が見えてきた後半72分、左サイドをドリブルで駆け上がった古市(珠)の鋭いクロスボールに3年・池田が反応、そのマークについていた相手DFに当たり、追加点をあげることに成功する。全員のゴールを狙う姿勢が相手のオウンゴールを誘うこととなった。

4年・土屋

vs 姫路獨協大学
2-1





▲2点に絡む活躍をした古市(珠)。全試合フル出場。

予選リーグを勝ち抜き、国立のピッチに立つ夢は今年度も叶えることができなかった。しかし、全試合において得点することができたのは、間違いなく1年かけて成長してきた証といえる。大きな目標としてきた『インカレ』は終わってしまったが、今年度はまだ公式戦が残っている。インカレで成長を止めるのではなく、もっと強くなるために邁進しなくてはならない。わざわざ大阪まで応援に駆け付けてくれた人々や、いつも支えてくれる周りの人々への感謝の気持ちを忘れず、尚美学園大学女子サッカー一部は来年度のインカレ制覇に向けて走り出す。



4年生

応援ありがとうございました!!

第4回会長杯 埼玉県女子サッカー大会

『会長杯』は、4年前に始まった大会で、埼玉のNo.1女子サッカーチームを決める大会だ。出場資格が与えられるのは“関東女子サッカーリーグ所属チーム”と“埼玉県リーグ1部優勝チーム”のみで、今年度は、尚美学園大学・武蔵丘短期大学・浦和レッズレディース Jr.Y、そして県リーグ優勝チームの大東文化大学の4チームでトーナメントが行われる。参加チームのレベルは高く尚美は過去一度も決勝に勝ち上がったことがない。



#47 千一

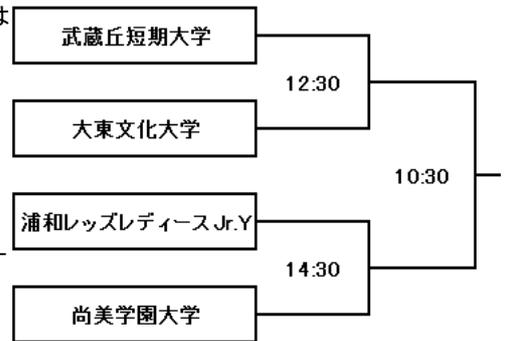
#25 サキ

12/18(日) 12/23(金)
大東G 熊谷補助



#42 伊三

武蔵丘短期大学や浦和レッズレディース Jr.Yには公式戦で何度も対戦経験はあるものの、勝ったり負けたりを繰り返している。大東文化大学も県リーグ所属とはいえ抜群のチームワークと気持ちを全面に押し出すプレーをする勢いのあるチームだ。試合内容はもちろん大事だが、公式戦で勝つことはチームとしてのレベルアップにつながる。また、会長杯は登録人数が20名と定められているため、全日関東やインカレ同様に公式ユニフォームを使用する(4年生集合写真参照)。チームの代表に選ばれ、限られた者しか着ることのできないユニフォームで戦うことは個人の大きな自信となる。この大会を優勝で終わることができるか。



12/18(日)準決勝 vs浦和レッズレディース Jr.Y
in 大東文化大学グラウンド 14:30キックオフ!
12/23(金)決勝 in 熊谷スポーツ文化公園補助競技場
編集後記

12月中旬に差ししかかり、2011年もあと僅かですね!ずっと目標にしていたインカレが終わってしまいました。自然と大学4年間を振り返ってしまいます。公式戦も練習試合も1つ1つを思い出することができます。みんなと喜んだことや、みんなで苦しんだこと、先輩とともに目指してきた『インカレ制覇』を、今年の後輩と目指しました。でも、力は及ばませんでした。日本一はまだまだ遠いですね!私たちが叶えられなかった夢を可愛い後輩たちに託したいと思います(^_^)4年生で早い人は会長杯を最後に、長い人でもあと1ヶ月ほどで引退になります。インカレで悔しい想いをした分、引退は気持ちよく最高の気分で迎えたいと思います。最後になりましたが、インカレの際は温かいご声援、本当にありがとうございました。この先もまだまだ大事な公式戦が続きますので、これからも応援よろしくお願います!!

4年 本谷さち

フロッサムリーグ

大学女子サッカーのレベルを底上げするために、育成リーグとして昨年度より始まったこのリーグ戦に、尚美は今年度より参加している。現在5試合を終え、4勝1分。すでに全試合を終えて暫定1位の早稲田大学との得失点差は6点。最終戦となる慶応義塾大学戦にて7点差以上で勝てば優勝が決定する。優勝への条件がはっきりしているなかで、どれだけ力を発揮することができるか。笑顔で年内最後の公式戦を締めくりたい。

12/25(日) vs慶応義塾大学
in 慶応義塾大学 日吉グラウンド
10:30 キックオフ

戦績は以下のとおり

- ・ 大東文化大学 2-0 ○
- ・ 筑波大学 1-0 ○
- ・ 早稲田大学 1-1 △
- ・ 日本女子体育大学 5-1 ○
- ・ 東京女子体育大学 6-0 ○

